

奥日光の自然情報誌

4-5月号

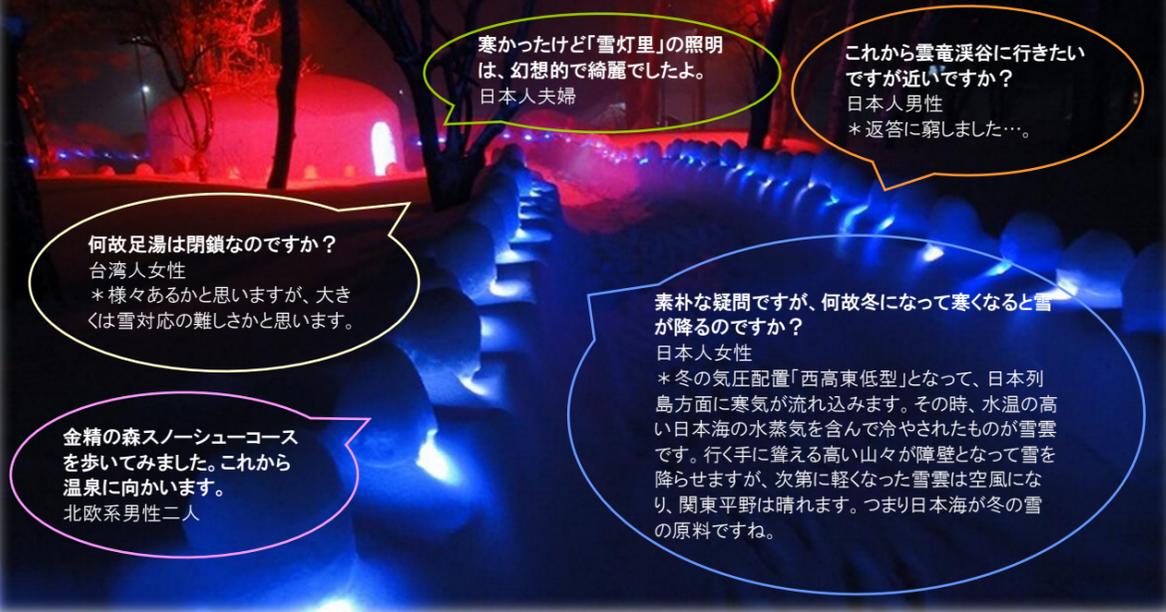
# 楓通信



奥日光を愛する皆様に旬な情報を伝えたい

## 奥日光に訪問されたお客様の声

## お知らせ



寒かったけど「雪灯里」の照明は、幻想的で綺麗でしたよ。  
日本人夫婦

これから雪竜渓谷に行きたいのですが近いですか？  
日本人男性  
\* 返答に窮しました…。

何故足湯は閉鎖なのですか？  
台湾人女性  
\* 様々あるかと思いますが、大きくは雪対応の難しさかと思えます。

金精の森スノーシューコースを歩いてみました。これから温泉に向かいます。  
北欧系男性二人

素朴な疑問ですが、何故冬になって寒くなると雪が降るのですか？  
日本人女性  
\* 冬の気圧配置「西高東低型」となって、日本列島方面に寒気が流れ込みます。その時、水温の高い日本海の水蒸気を含んで冷やされたものが雪雲です。行く手に聳える高い山々が障壁となって雪を降らせませんが、次第に軽くなった雪雲は空風になり、関東平野は晴れます。つまり日本海が冬の雪の原料ですね。

## 森のギャラリー



◆森のギャラリーとは  
ビジターセンターに隣接する、飲食可能な休憩所です。  
また、どなたさまも無料で  
展示会等にご利用いただけます。  
ご予約は当センターまで。  
TEL 0288-62-2461

## 奥日光は自然豊かなクマ(ツキノワグマ)の生息地です

奥日光では、クマの目撃報告が毎年多数あります。活動時期には、いつでも遭遇する可能性がありますので、ハイキング等で野外に出る際には、クマに出会わない工夫をしましょう。



### 【表紙の話】

奥日光の遅い春を告げるように咲く「アカヤシオ」。まだ木々が萌え出る前の山肌に、最初に色を添える花です。その薄く優美な赤色の花は、春を代表する桜とは違った趣があります。ツツジ科の栃木県の花で、例年4月下旬頃に中禅寺湖や周辺の山々で咲きはじめます。湯元では5月中旬頃が見頃となります。

### 日光湯元ビジターセンター開館日・開館時間

4～6月 9:00～16:30 (無休)

## 編集後記

雪に閉ざされた湯元温泉の2月、この厳寒の時期でも外国からのお客様が来られます。訪問の目的は、母国では見られない白い雪の世界を体験して、あたたかい温泉につかることのように。除雪された雪の塊の前で写真を撮ったり、ビジターセンターにかかる青色の氷柱に感動したり、強風の中、氷結した湯ノ湖の畔を歩いたりして、無邪気そうに楽しむ姿を微笑ましく感じます。国際観光地としての湯元の魅力が、何気ない風景に秘められているかもしれません。(M・K)

## 楓通信 No.128

日光湯元ビジターセンター発  
-奥日光の自然情報誌-

2017年4月1日発行  
次号6月初旬 発行予定

隔月発行 一部100円  
年間購読料1,000円(送料込)

### 年間購読のお申込み

氏名・住所・電話番号を明記の上、郵便振替にて自然公園財団宛に購読料をお支払いください。年途中からでもどうぞ！

ゆうちょ銀行 振替 No. 00370-3-7232

一般財団法人自然公園財団日光支部  
〒321-1662 栃木県日光市湯元 日光湯元ビジターセンター内  
TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

# 奥日光 歳時記

平成29年1月～2月

待ちに待った銀白色の世界到来！ 年が明けてから遅めの寒波が日本列島を覆い、この奥日光の凍てつく空にも雪雲が流れ込み、本格的な降雪となりました。寒さが厳しい2月には、十分雪遊びが楽しめたと思います。去年より多い積雪ですが、今冬も、暖冬傾向が強かったと思われます。湯ノ湖の結氷は厚くならず、除雪した雪壁も威圧的な高さにはなりません。地球規模の温暖化の影響が気になりますが、間もなく来る花の季節が楽しみです。



2017.1.18 日本庭園の風情を見せる泉門池 いずみやどいけ



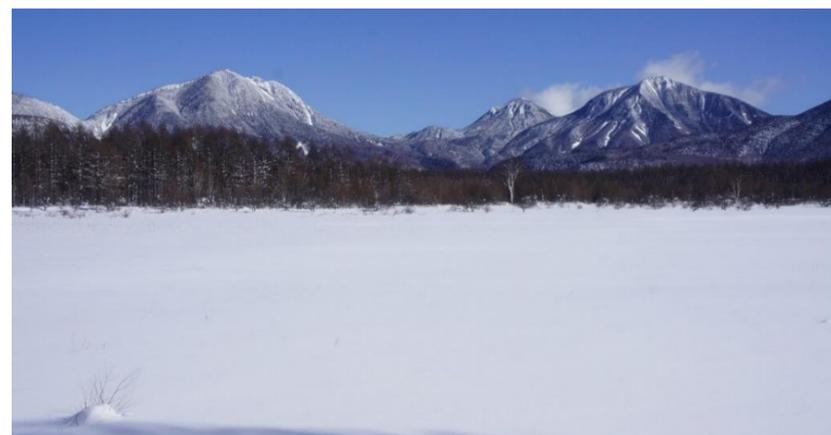
2017.2.12 森の妖精が遊びに来そうな湯元温泉の秘境・蓼ノ湖 たでのうみ



2017.2.22 静寂極める千手ヶ浜から見る男体山と中禅寺湖



2017.1.18 雪化粧をして白さを競う湯滝



2017.1.18 小田代原の「貴婦人」と日光連山



2017.2.4 雪尾根の風紋と奥白根山溶岩ドーム

# 奥日光の自然 基本データ

日本の地名や名称には地方特有の呼び名や歴史があり、それがその土地特有の財産である場合があります。例えば男体山は、その時々で、二荒山、黒髪山、国神山などと呼ばれていたようです。最近では外国のお客様が日光に訪問されることも多く大変喜ばしいことですが、日光の紹介地図に、「社山」の名前を「Yashiro」、湯元温泉の「三岳」を「Mitake」と誤表記されておりました。諸説ある中で、下表は日光湯元ビジターセンターがまとめたデータですが、皆様の参考になればと思い、ここで紹介させていただきます。

山岳	名称	読み方	英語表記	標高(m)	
	白根山	しらねさん	Mt. Nikko-Shirane	2,578	
	男体山	なんたいさん	Mt. Nantai	2,486	
	女峰山	によほうさん	Mt. Nyoho	2,483	
	帝釈山	たいしゃくさん	Mt. Taishaku	2,455	
	五色山	ごしきさん(ざん)	Mt. Goshiki	2,379	
	大真名子山	おおまなごさん	Mt. O-manago	2,375	
	前白根山	まえしらねさん	Mt. Mae-Shirane	2,373	
	太郎山	たろうさん	Mt. Taro	2,368	
	温泉ヶ岳	ゆせんがたけ	Mt. Yusengatake	2,333	
	根無草山	ねなくさやま	Mt. Nenakusa	2,330	
	小真名子山	こまなごさん	Mt. Ko-manago	2,323	
	金精山	こんせいざん	Mt. Konsei	2,244	
	外山	とやま	Mt. Toyama	2,204	
	金精峠	こんせいとうげ	Konsei Pass	2,020	
社山	しゃざん	Mt. Shazan	1,827		
高山	たかやま	Mt. Takayama	1,668		
湖沼・湿原	名称	読み方	英語表記	最大水深(m)	標高(m)
	五色沼	ごしきぬま	Goshikinuma Pond	4.5	2,175
	切込湖	きりこみこ	Lake Karikomi	15.2	1,617
	刈込湖	かりこみこ	Lake Kirikomi	16	1,617
	蓼ノ湖	たでのうみ	Lake Tadenoumi	2	1,530
	湯ノ湖	ゆのこ	Lake Yunoko	12.5	1,480
	光徳沼	こうとくぬま	Kotokunuma Pond	0.5	1,420
	西ノ湖	さいのこ	Lake Sainoko	17.1	1,305
	中禅寺湖	ちゅうぜんじこ	Lake Chuzenji	163	1,269
	小田代原	おだしろがはら	Odashirogahara Wetland		1405-1430
戦場ヶ原	せんじょうがはら	Senjogahara Wetland		1390-1400	
滝	名称	読み方	英語表記	長さ(m)	落差(m)
	湯滝	ゆだき	Yudaki Falls		70
	竜頭滝	りゅうずのたき	Ryuzunotaki Falls	210	60
	華厳滝	けごんのたき	Kegonnotaki Falls		97



## \* マダニの季節到来 \*

宇都宮大学産学官連携研究員 竹田 努 (環境科学博士)

マダニを森や藪の中で見かけたことはありますか？  
 ダニと聞くと喘息などアレルギー反応に関わる「ハウスダスト」が思い当たるかもしれませんが、しかし、今回のお話は、そういったアレルギーに関係するような「イエダニ」ではなく、春から夏にかけて山で見られる「マダニ」のお話です。

ご存知のようにマダニは蚊のような吸血節足動物ですが、蛛形目(しゅけいもく)のマダニは6本足の昆虫ではなく、8本足の広い意味ではクモに近い仲間です。しかし、なんとこのマダニは孵化したときは6本足なのです。マダニは種類によって孵化する季節は異なりますが、奥日光周辺のシカに寄生するマダニの多くは、秋に卵から幼ダニが孵化します。そこからおよそ1年かけて昆虫と同じように脱皮して成虫になり、再び秋に産卵します。卵胎生であるマダニはメスの身体の中で卵を育て、時期が来ると母体の腹部が破裂して幼ダニが湧き出します。幼ダニは一見すると粉のように小さく、動きも遅いのでその時に寄生できる野ネズミに出会い、身体に栄養を蓄える事ができなければ厳しい冬を越える事ができません。その後、脱皮しながら若ダニさらに交尾ができる成ダニへと成長します。しかし、その都度吸血をする必要があります。吸血をすると、元のサイズの2~3倍になり、血中から栄養分を集めて中腸に溜め込んでいきます。蚊は産卵するためだけに吸血するため、吸血するのはメスのみで、普段は花の蜜や果物の汁を餌にしています。しかし、マダニの餌は生涯血液のみです。したがって寄生できる時まで、ジーンと草の葉裏や枝先で我慢して待っています。皆さんが嫌がるマダニは、実はとっても忍耐強く、何も食べずに半年近く我慢して皆さんのお越しを待ち続けています。なぜですか？

マダニは蚊と同じように動物の発する二酸化炭素に反応して、動き出します。藪の中にもやみに入ると、4月から7月までは様々な種類のマダニと出会います。時には吸血しない「アカケダニ」にも出会うかもしれません。体が真っ赤なグミのようなアカケダニは菌や寄生虫を食べる森の掃除人です。2cm位もあるので皆さんも戦場ヶ原などで見かけたことがあるのではないのでしょうか。本当に可愛い“草食系”のダニで、これはマダニの仲間ではありません。

奥日光の周辺では、北海道でよく見られるシュルツェマダニやフタトゲチマダニが多く見られます。これらのマダニは、稀に人が感染するライム病スピロヘータや日本紅斑熱リケッチアなどを持っていることがあります。いずれも酷い発熱を伴った症状が数日後に現れ、辛い思いをします。初夏の奥日光では、木道を歩行する際は問題ありませんが、草が生い茂っている場所に近づいた場合は、ズボンや服にマダニが取り付いていないか確認してください。マダニは皮膚に乗るとすぐに吸血するわけではなく、しばらく吸血に適切な場所を探して歩き回ります。また、マダニは熱や水が嫌いです。ぜひ、奥日光にお越しの皆さまにお勧めなのは、山歩きをしたときは、ゆっくり温泉につかって、のんびり疲れを落としていただければと思います。



# 日光の気象

文♦辻岡.....  
気象予報士の資格を持つスタッフが、  
毎回1テーマを分かりやすく解説します。  
.....

## ■中禅寺湖に流れ落ちるもう一つの滝

中禅寺湖に向かって流れ落ちる滝は竜頭の滝だけです。しかしもう一つ、普段は見る事が出来ない滝があります。

濃霧に包まれたいとは坂を登り、中禅寺湖畔を菖蒲ヶ浜に向かって車を走らせていくと、霧は晴れて青空が広がることがあります。こんな日、足尾との境の山並みを見ると、山並みの一番低いところ、阿世瀉峠(約1410m)から雲があふれ出して中禅寺湖に流れ落ちている光景を見ることがあります。雲が流れ落ちる様子は滝のようで、これがもう一つの滝です。

写真は2011年4月21日午前8時頃に撮影したもので、足尾側から流れてきた雲が阿世瀉峠から中禅寺湖に溢れ出している様子です。この雲は、まるで滝のようになって落下しているので滝雲と呼ばれています。この不思議な雲はどのようなときに発生するのでしょうか。

図1は、この日午前9時の天気図です。東日本の真上と西日本の南に移動性高気圧があり、日本全体が好天となる形です。しかし、二つの移動性高気圧の間は気圧の谷になっています。東日本の高気圧の周りを時計の針の回転方向に吹く風が湿った南風となり、関東地方は雲が広がりやすくなっています。しかし、高気圧の圏内にあるので全体としては下降気流の場であり、雲は発達しません。図2は同時刻の館野(茨城県つくば市)の気温と露点温度の高度分布です。高度1600m付近を境に、下部は気温と露点温度の差が小さく、空気が湿っています。上部は差が大きく空気は乾燥しています。下部の湿った空気は、関東平野に侵入してきた低温で湿った空気の層、上部は高気圧の中の下降気流によってできた暖かく乾燥した空気の層です。

さて、足尾側の背の低い雲ですが、下部の湿った空気の中で発生したもので、上部の乾燥した空気層によって頭を押さえられています。この時足尾側には雲海が広がっています。この雲海は南風に乗って奥日光側に流れこもうとしますが、そこは足尾側とは全く異なる世界になっているため、雲は奥日光側には入って行くことができません。奥日光は、中禅寺湖の湖面の標高が1270m、戦場ヶ原は1400mもあり、関東平野の湿った空気の層が存在しません。高気圧内部の下降気流が中禅寺湖の湖面や戦場ヶ原の地表まで届き、空気が乾燥しています。このため、峠を越えたところで湿った空気は下降することになり、温度が上昇して湿度が下がり雲は消失します。

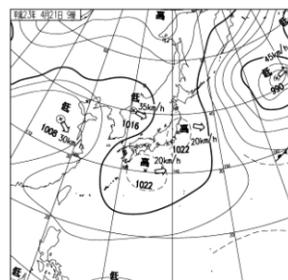


図1 2011年4月21日09時

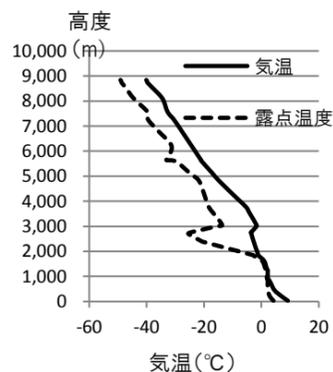


図2 気温と露点温度の高度変化

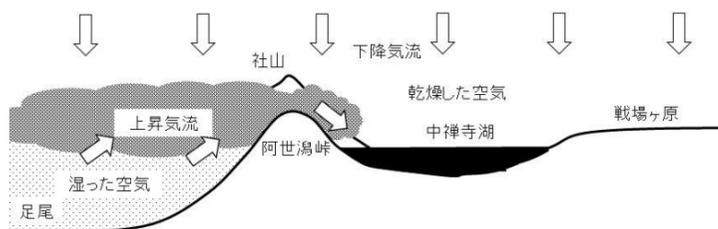


図3 滝雲ができるしくみ



阿世瀉峠から流れ落ちる滝雲

### 2016年の平均気温・湯元

	2月	3月
最高気温	1.1℃	5.2℃
最低気温	-8.0℃	-3.3℃

※自然公園財団日光支部の記録より

### 2017年 日の出日の入(宇都宮)

	4/1	5/1
日の出	5:27	4:47
日の入	18:02	18:27

※国立天文台ウェブサイトより

### 2017年 天文情報

	4月	5月
満月	11日	11日
新月	26日	26日
4/22	こと座流星群	
5/6	みずがめ座η流星群	

※国立天文台ウェブサイトより

# 日光湯元ビジターセンター イベント情報

GW 恒例の早朝散策。ご好評につき、今年は5・6月の日曜日にも開催いたします！

## 早朝散策

湯元宿泊者限定

### ビジタースタッフ流・湯元の遊び方

ご案内する内容は、歴史、植物、動物、風景など、スタッフの得意分野や時期によって様々です。何気ない風景の中に隠された、湯元の魅力を探しに行きましょう！

#### ●日程

5月4(木)、5(金)、7(日)、14(日)、21(日)  
6月4(日)、11(日)、18(日)、25(日)

#### ●時間

6時30分～7時30分

#### ●集合

日光湯元ビジターセンター前

#### ●料金

500円

#### ●定員

各回15名程度

#### ●お問合せ

環境省 日光湯元ビジターセンター  
TEL 0288-62-2321



## イベントレポート

Pick up



### たてのうみ 蓼ノ湖へ行こう 2/12(日) 09:30~14:30

湯元温泉街から近い場所にありながら、夏は原生林に阻まれて人跡も稀な蓼ノ湖。冬になって雪世界になれば、そこは深雪を存分に楽しむスノーシューの別天地！小雪が舞うビジターセンターから出発したのは総勢21名。スノーシューを駆使して雪の斜面を歩けば、光の反射で煌めく雪の結晶の美しさに感嘆の声！目的地は、森の奥にある凍結した蓼ノ湖。ここで雪上ランチをとり、贅沢な時間を過ごしました。冬の寒気で体が凍える前に往路を戻り、皆、元気な笑顔でビジターセンターに帰ってまいりました。雪の蓼ノ湖は、大人も子供も楽しめるご近所感覚の「秘境」なのでお奨めです。(M・K)